

こどもの病気対策法①⑩

－夜間のこどもの耳痛－

大分大学客員教授 是 松 聖 悟

先の台風に関する被害で、市民の方々にお見舞い申し上げます。一日でも早くもとの生活に戻ることをお祈り申し上げますとともに、子どもの心身のことでお困りが生じましたら、何なりとお申し付けください。

今年度、子どものいるご家庭に配布してきた、夜間のこどもの病気対策フローチャートの改訂をしています。今回は「夜間のこどもの耳痛」です。

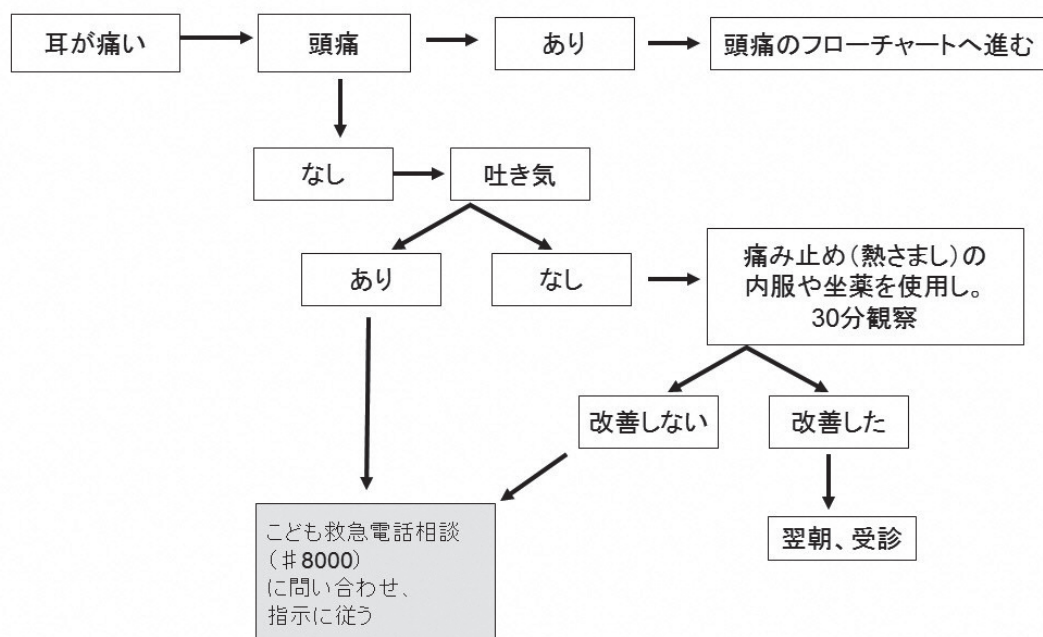
耳やその周囲が痛い原因としては中耳炎、外耳炎、おたふく風邪、リンパ節炎などがあります。今の子どもはヒブワクチンや肺炎球菌ワクチンを接種しているので、中耳炎を起こすことは減りました。そして、津久見の子どもは、おたふく風邪ワクチンも、市の公費助成によって接種している子が多いので、おたふく風邪にたとえかかって重症化することはほとんどありません。

ですから、ワクチンをしつ

かりしている津久見の子どもは夜間の耳の痛みの多くは急を要するものではないことが予想されます。まずは頭痛や吐き気がないか、観察してください。頭痛があれば、このコーナーでもご説明した頭痛のフローチャートへ進んでください。頭痛はないが、吐き気がある場合は、こども電話相談＃8000に相談されてください。

耳は痛い、頭痛も吐き気もない場合は、熱さましのお薬を使ってみましょう。熱さましのお薬は痛み止めにもなりますので、熱がなくても使って構いません。このような場合に備えて、家庭には熱さましのお薬（内服薬でも座薬でも）をストックしておくことをお勧めします。それを使って痛みが治まって眠れるのであれば、心配する状態ではないと思われます。しかし、痛みが改善しない場合は、こども電話相談に相談してください。もちろん、そのようなことがあれば、朝、症状が軽

夜間のこどもの耳痛 フローチャート



くなっている、病院やクリニックを受診することをお勧めします。
ただし、このフローチャーター

トはあくまで目安です。心配事があれば、こども電話相談に問い合わせてください。